

## 14. 佐久市在宅医療・介護の連携体制推進事業の実施による成果

東かおり、小池香理（佐久市高齢者福祉課）

キーワード：医療介護連携、多職種、在宅医療

**要旨：**高齢化の進展や家族形態の変化に伴う医療・介護の需要増加により、医療や介護資源の不足、医療・介護保険財政の逼迫が課題となっている。当市では、高齢者が適切な医療・介護を受け、可能な限り住み慣れた地域で生活できる体制を整えるため、「佐久市在宅医療・介護の連携体制推進事業」として、医療・介護における業務や職種間における認識の溝を埋め、結びつけることを目的に取り組みを進めてきた。その結果、多職種間での医療・介護連携における課題の共有や「顔の見える関係」構築につながり、当市の医療と介護の連携は以前よりスムーズになった。本報告では、その取組みについて報告する。

### A. 目的

高齢化が進む中、疾病や要介護状態にある高齢者の増加、また、独居や高齢夫婦のみの世帯の増加による医療・介護の需要増加により、今後、医療・介護資源の不足や医療・介護保険財政が逼迫してくることが推測されており、対策が重要となってくる。当市では、高齢者が適切な医療・介護を受け、可能なかぎり住み慣れた地域で生きがい豊かに自立した生活を営める体制を整えるため、平成 25 年度より「佐久市在宅医療・介護の連携体制推進事業」として、在宅医療・介護の多職種協働による支援体制の推進、地域包括ケアの体制づくり、在宅医療・介護についての市民啓発の取組みを進めてきた。

今回、本事業への取組みによる成果について報告をする。

### B. 実施内容

#### ①医療介護連携推進協議会

医療・介護の連携上の課題を持ち寄り、連携の仕組みづくり等の対応策を講じることを目的に開催。

委員は、医師や歯科医師、薬剤師、訪問看護師等医療関係団体の代表者、急性期病院の連携担当者、ケアマネジャー（CM）や入所・通所・訪問介護等の介護関係団体の代表者、有料老人ホーム代表者等の計 19 名で構成。

対応策として導かれた連携の仕組みや取組みについては、市内の医療・介護関係者へ周知し、協力を依頼する。

実施状況：年 4 回開催（H25～27 年度で計 12 回実施）

#### ②在宅医療 24 時間体制の整備

地域の医療・介護関係者の協力を得ながら 24 時間切れ目なく在宅医療が提供される体制の構築を目指した取組みを実施（佐久医師会へ委託）。今後、自宅等で看取りをする人の増加が見込まれるなか、訪問診療医の負担軽減を図り切れ目のない在宅療養を可能とする体制を整えるため、休日における在宅患者の死亡診断および死亡診断書の作成を当番医師が行う「佐久医

師会休日在宅看取り当番制」を開始した（平成 27 年 10 月 1 日より）。主治医と当番医、訪問看護師が患者情報を共有するためのツールとしては、医療用 SNS を導入。

|       |             |    |
|-------|-------------|----|
| 登録機関： | ・医療機関       | 35 |
|       | ・訪問看護ステーション | 12 |
|       | ・居宅介護支援事業所  | 2  |
|       | ・地域包括支援センター | 5  |

#### ③急性期病院と介護事業所、施設との連携体制および信頼関係の構築（カフェ交流会）

急性期病院の入退院時等における医療・介護の連携上の課題について、市内の急性期病院等のスタッフと介護事業者等が一同に集い意見交換するための交流会を開催。

実施状況：年 1 回開催（H25～27 年度で計 3 回実施）

参加者数：各回 60 団体 100 名前後

#### ④地域住民への啓発活動

地域包括ケアの体制づくりや終末期の意思決定、在宅医療や介護、介護予防についての啓発を目的に、市民公開講座の開催や地域での学習活動を展開。

##### ア 市民公開講座

実施状況：年 1 回開催（H25～27 年度で計 3 回実施）

参加者数：H25 年 210 名、H26 年 227 名、H27 年 300 名

##### イ 地域での「老い支度講座」

実施状況：H26 年 7 か所、H27 年 12 か所

参加者数：H26 年 344 名、H27 年 461 名

##### ウ 広報を通じた事業の周知

事業の目的や行政・医療・介護の関係者、市民それぞれの役割について掲載。

#### ⑤多職種連携の促進（交流研修）

他職種、他事業所の仕事内容を知り、「顔の見える関係」を構築することで事業所間・職種間の相互理解をすすめ円滑な連携につなげることを目指し、医療・福祉事業者へ、研修受け入れ先と研修希望者を募り、

一日または半日の見学による交流研修を実施。

参加者延人数（受入れ事業所実数）：

H25年 61名（34）、H26年 45名（26）、H27年 40名（23）

#### ⑥地域リーダーレベルアップ研修

「在宅医療の推進」、「医療・介護連携の促進」をリードする人材を育成することを目的に、市内すべての医療機関、介護事業所を対象にグループワークや実技を交えた研修会を開催。

実施状況：年1回開催（H25～27年度で計3回実施）

参加者数：H25年 125名、H26年 84名、H27年 49名

### C. 結果

#### ①医療介護連携推進協議会

- ・老人ホーム等における死亡時の救急搬送に係る課題から、佐久医師会が看取りに向けた指針として「老人ホーム等における終末期の対応に関するガイドライン」を作成し、市内老人ホーム事業者を対象に説明会を開催。
- ・在宅要介護者の口腔ケアの重要性が多職種で確認・共有され、協議会として、当市の「在宅要介護者訪問歯科健診事業」の活用について市内148介護事業者へ周知。
- ・残薬による治療効果減少や医療費増加等の課題が提示され、その解決方法を検討するため、薬剤師会を中心に地域包括支援センターの協力を得て、残薬の実態調査を実施。
- ・CMから医師へ「医療と介護との連携連絡票」を活用して連携する際、しばしば記載内容が明確に伝わらず連携が円滑に進まないとの課題が提示されたことを受け、CMが主体となりMSWと協働して、「CM向け連携連絡票の書き方研修」を開催。
- ・入退院時の円滑な医療介護連携を実現するため、患者情報の共有に用いる書類等の把握やその記載内容等を統一する必要性について課題が提示され、佐久保健福祉事務所主導の取組みの中で「入退院連携ルール」として仕組みが構築された。

#### ②在宅医療24時間体制の整備

医療用SNSは、「休日在宅看取り当番制」による看取り等緊急時の活用だけでなく、訪問看護ステーションが日常業務の中で医師と連携を図る際等にも活用されている。

#### ③急性期病院と介護事業所、施設との連携体制および信頼関係の構築（カフェ交流会）

意見交換を通し、入退院時や外来通院における医療スタッフと介護スタッフとの連携上の課題として、「お互いの役割や業務内容への理解不足」が明らかとなり、急性期病院やCM、介護施設の役割について多職種で学び合う勉強会開催につながった。

#### ④地域住民への啓発活動

参加者より、「病気予防や対応方法が良く理解できた」、「多職種が連携している様子を知り、老後の生活の不安が和らいだ」「皆が老いていくなかで、地域のつながりを大事に助け合いたい」「死を意識して生きることで今後の日々を前向きに考えられる」等の反応が多く寄せられた。

#### ⑤多職種連携の促進（交流研修）

参加者へ研修参加前後でアンケートを実施した結果、研修後に「顔の見える関係」と「困ったときに相談できる関係」の構築が促進されたことが確認できた。

#### ⑥地域リーダーレベルアップ研修

在宅医療の意義や課題について多職種でグループワークするなかで、協力し合い問題を解決していくプロセスを体感することができた。また、互いの職種の立場を理解し連携する大切さについて気付きが生まれた。

### D. 考察

事業が円滑に進んだ背景としては、事業開始にあたって市と医師会、介護保険事業者団体とで医療・介護連携の課題や今後の取組みの方向性が共有され、緊密な連携ができていたことが挙げられる。その上で、医療・介護におけるそれぞれの業務や職種間の認識の溝を埋め、結びつけることを目的として事業を進めてきた結果、次の成果につながり、当市の医療と介護の連携は以前よりスムーズになった。

- ・多職種が集まり話し合う機会を設けたことから、医療・介護連携における問題点について、それぞれの立場からの認識や課題を共有化でき、さらに、その解決へ向けた取組みは協議会の承認を得て進めていくため、各職種や団体の立場から行動を起こしやすくなった。また、互いに連携した効果的な取組みも生まれた。
- ・多職種での研修等においては、多職種間での顔の見える関係が構築された他、他職種への理解を通して自らの職種の専門性の理解につながったことで、ケアの質向上への意識づけが促進され、より良い連携が取り易くなった。
- ・市民への啓発活動を進める中で、地域での「若い支度講座」開催の要望は増えてきており、互助の体制づくりや終末期の意思決定の必要性についての認識は高まってきている。

### E. まとめ

事業は今年で開始から四年目を迎え、今年度より地域支援事業に組み込んで、その取組みを継続している。今後も事業の評価・見直しを行いながら関係者と協力し、医療・介護連携を効果的に推進していく必要がある。

### F. 利益相反

利益相反なし